

試験報告書

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 SH型

表 題 PFOA及びPFOS除去性能試験

2019 年 06 月14 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

PFOA及びPFOS除去性能試験

検 体

SH型

試験概要

検体に、パーフルオロオクタン酸(以下「PFOA」という。)及びパーフルオロオクタンスルホン酸(以下「PFOS」という。)をそれぞれ約50 ng/L, 合計濃度として約100 ng/Lとなるように調整した原水を通水し, 得られた通過水及び原水についてPFOA及びPFOSを測定した。

なお, PFOSは異性体を含めて定量した。

試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 PFOA及びPFOS除去性能試験結果

通過水量	動水圧 (MPa)	水温 (℃)	分析試験項目	結果 (ng/L)		除去率 (%)
				通過水	原水	
10分間通水後	0.04	21	PFOA	0.7	48	98.5
			PFOS	0.8	61	98.7

試験条件

- 水 : 水道水(東京都多摩市)
- 水の処理 : 活性炭 PMC250-200 [株式会社クラレ]
中空糸膜 ステラポア-PK0型 [三菱ケミカル株式会社]
- 原水の設定 : 目標濃度 PF0A及びPF0S 各50 ng/L(合計100 ng/L)
水温 20 °C±3 °C
- 通水条件 : ろ過流量 8 L/min
- 測定方法 : 液体クロマトグラフィー質量分析法

除去率の算出

次式により算出した。

$$\text{除去率(\%)} = \frac{\text{原水測定値} - \text{通過水測定値}}{\text{原水測定値}} \times 100$$

以 上